



金融教育新聞

～キャッチフレーズは“Make harmony”～



知っていますか? キャッシュレス決済について

キャッシュレス決済とは、文字通り「Cash（現金）」を「Less（少なくする）」ことを目的とした決済方法です。経済産業省が平成30年に公表した「キャッシュレス・ビジョン」のなかでは、「物理的な現金（紙幣・硬貨）を使用しなくても活動できる状態」と定義されています。

人の経済交流は、長い間「現金」をもとに行われてきました。その現金を「電子マネー」という形のないお金に換え、新たな経済交流をしようと考え出されたのがキャッシュレス決済です。

初めてキャッシュレスによる決済方法が生まれたのは1950年頃です。きっかけは、あるアメリカの実業家がレストランでの支払い時に財布を忘れたことでした。そのことから、財布がなくても支払いできるシステムを考え出し、クレジットカードが誕生しました。

日本ではその10年後の1960年にクレジットカード会社が初めて設立されました。高度成長期の最中で人々の消費行動も活発となり、その後も、決済時に銀行口座から即時引落としされるデビットカードや、最近ではスマホを活用したQR決済など、さまざまなキャッシュレス決済手段が増えています。



チェック キャッシュレス決済の種類

①スマートフォン決済（例：PayPay, LINE Payなど）

スマートフォンにダウンロードした決済専用アプリを利用して支払う方法です。利用するためには、あらかじめ専用のアプリ内にクレジットカードや銀行口座などの情報を登録しておく必要があります。

- （1）スマートフォンを機械にかざす（タッチ決済）
レジにある専用端末にスマートフォンをかざすことで支払いが完了。
- （2）アプリで表示するバーコードやQRコードを店側が機械で読み取る。（ストアスキャン方式）
- （3）店舗にあるQRコードをアプリで読み取る。（ユーズスキャン方式）



②クレジットカード決済

キャッシュレス決済の定番ともいわれる方法です。クレジットカードでの支払いは、おもに以下の3つの方法で行います。

- （1）決済端末の利用（店舗）
レジにある専用端末にカードを差し込み、暗証番号を入力するか、出力された伝票にサインするような方法です。
- （2）タッチ決済（店舗）
レジにある決済専用端末を利用しますが、カードをかざすだけで支払い完了となる方法です。
- （3）Web画面にてカード番号・有効期限などを入力（インターネット）
オンラインショッピングなどの際に、Webサイトにある決済画面でカード番号やカードの有効期限などを入力して支払う方法です。

③デビットカード決済

クレジットカードと同様にカードを利用するのが一般的です。決済後即時に銀行口座から利用金額が引き落とされるのがデビットカード決済の特徴です。

キャッシュレス決済のメリット

①支払いの手軽さ（タイムレス）

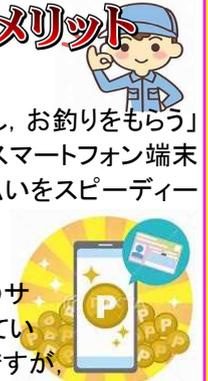
「現金を財布から取り出し、金額を確認し、お釣りをもらう」という一連の作業がありません。カードやスマートフォン端末をかざすだけで決済処理されるため、支払いをスピーディーにおこなうことができます。

②ポイント還元

カード会社やスマートフォン決済の多くのサービス業者は、ポイント還元制度を実施しています。還元率は決済事業者によって様々ですが、キャンペーンなどで還元率が大幅に上がることもあります。

③支払い管理のしやすさ

家計簿をつける際は、別途レシートを保存したり、書き込んだりといった手間が発生しますが、ほとんどの電子マネーは支払い情報がすべてデータ化され履歴として残っています。そのため、このような手間をかける必要がありません。



キャッシュレス決済のデメリット

①セキュリティ問題（クレジットカード・デビットカード）

スキミングによるカード不正利用の事件が多発しており、カード情報を不正に入手し、「知らないうちに自分のクレジットカードが支払いに使われていた」というケースがあります。

②分割払は金利や手数料が発生（クレジットカード）

クレジットカードは分割払ができるというメリットがありますが、分割払は手数料や金利が発生する場合があります。

③スマートフォン紛失に伴う不正利用の可能性がある（クレジットカード、デビットカード、QR決済）

QR決済では、そのデータはスマホに保存されています。そのため、スマホを紛失すると不正に利用される可能性があります。スマホには二重にロックをかけたり、顔認証や指紋認証といった生体認証の設定を忘れないようにしましょう。

重要 ～キャッシュレス決済を使用する際の注意点！～

キャッシュレス決済は、事前のセキュリティ対策が重要です。決済アプリを選ぶ際には、アプリ自体にパスワードや指紋認証があるものをお勧めです。また、①定期的に利用履歴をチェックする、②スマートフォンを使用しないときはロックしておく、③パスワードの長期間使用や使いまわしは避ける、以上の原則を守り、トラブル回避に努めよう！